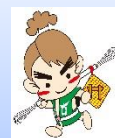




自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2021年2月5日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

～「令和2年度 熊本県公立学校 心のアンケート～楽しい学校生活をおくるために～」結果①

番	質問内容	回答
1	学校が楽しい	楽しい（「まあまあ楽しい」含む） 88.2%
2	誰かの役にたっている	役にたっている（「少し」含む） 60.0%
3	授業がよくわかる	わかる（「まあまあわかる」含む） 85.3%
4	自信のあること自慢できるものがある	ある（「少しある」含む） 71.2%
5	いじめられたことがある	ある 2.4%



「心のアンケート」の目的（一部省略）

「熊本県いじめ防止基本方針」に基づく「いじめの防止等のために本県が実施する施策」として、県内公立学校（熊本市立を除く）の児童生徒を対象にした無記名のアンケート調査を実施することにより、各学校が児童生徒の思いに寄り添い、いじめの実態を把握するとともに、迅速・適切な対応を行い、いじめのない、すべての児童生徒が安心して、楽しく学校生活を過ごせる学校づくりに取り組むための資料とする。

以上のような目的で、11月から12月にかけて各学校でアンケートを実施しています。結果は、学校生活の改善に役立っています。

◇「学校生活が楽しい100%・いじめられたことがある0%」が、4月に学校がスタートするときの目標です。しかし、本年度の結果は表の通りです。もっと学校生活の意義や魅力を発信していく必要があるようです。また、いじめが「ある」と回答した生徒は4人です。現在は、「続いてなく解消されている」と確認しています。これから「いじめの『未然防止』、『早期発見・早期対応』」に努めていきます。

◇「誰かの役にたっている」が低い。ひかえめな回答結果がでていますが、私はもっと自信をもって良いと思います。南関中生は、学校のルールを守ります。また「黙掃除」にも一生懸命取り組みます。集団生活に必要なことも心得ています。そして、地域の方へのあいさつもよく行っています。これらは学校生活を支え安定化に貢献しており、地域の方を喜ばせているのです。「何か特別なことをして、他人からとても喜んでもらった」ということをイメージしての回答でしょうか。大人でもそういう機会にはなかなか巡り会いません。

南関町 第37回年賀状コンクール



今年は、1年生2人が応募しました。左が「公民館長賞」の菅原和菜さん、右が「入選」の松本優さんの作品です。年賀状離れが叫ばれる中、2人の作品のように心のこもった年賀状をもらおうと、気持ち良く新年が始まることでしょう。



本年度最後となりました！

「用語大会」

今回は、社会科の用語で競い合いました。結果は、学級平均点1位が2年2組、2位が1年1組でした。各教科の基礎基本となる用語を覚える取り組みです。先輩に負けまいと1年生もよく頑張りました。

「読み聞かせ」

2月3日の実施で最後です。町内団体「クローバー」「からたち朗読会」や、保護者と保護者OBのみなさんに交代で協力いただきました。

「中学生に何を読めば良いか迷う」という声も聞きますが、難しく考えず絵本でも構いません。生徒なりに想像を膨らませて聞きます。

1年間たいへんお世話になりました。



貫禄が出てきた生徒会三役

1月27日「赤い羽根共同募金」贈呈
この日は、学校で集めた募金を社会福祉協議会の方に、学校代表として贈りました。

1月29日「新入生体験入学」
6年生とその保護者が中学校に集まった説明会です。中学校生活について発表内容を分担して説明してくれました。原稿を見ないで堂々と語る姿に、小学校の先生や生徒を知る保護者は、5人の成長を感じられたことでしょう。



※貫禄とは、体つきや態度から感じられる人間的重みや風格